

NEWJEC TIMES

第2号



特集

祝！安威川ダムが2024 グッドデザイン賞を受賞！

◎受賞・表彰・感謝状一覧

◎社内イベント他の紹介

◎技術紹介 ダムグループ「本明川ダム CIM・DX 活用検討」

新規事業開発グループ「茨木市市民会館跡地活用プロジェクト「おにクル」」

▶特集

祝！安威川ダムが 2024 グッドデザイン賞を受賞！

2024 年度グッドデザイン賞は 5,773 件中 1,579 件が受賞し、ニュージェックが長い時間をかけて全社一丸で取り組んできた大規模プロジェクトである「安威川ダム」も受賞しました！！

今回はデザインのポイントや評価コメントなど、受賞の詳細を特集します！！



▶安威川ダムの概要

- ・場所：大阪府茨木市大門寺
- ・ダム本体：ロックフィルダム
(堤高 76.5m、堤頂長 337.5m、堤体積 222.5 万 m³)
- ・下流広場：遊歩道および水路を設けた芝生広場、面積 2ha



▶受賞企業

大阪府 / 株式会社星田逸郎空間都市研究所
(一級建築士事務所) / 株式会社ニュージェック

▶デザインのポイント

ポイントは大きく 3 点あります。

- ①大地に優しいロックフィルダムのデザイン：
元地形への馴染み、荷重の分散、巨大壁の回避、地域石の活用等（リップラップ材、護岸、ベンチ、シンボル、舗装、湧水などは、全て現地の石を使用）
- ②地域資源の覚醒：地形再生と回遊性、石積の美の追及、水の活用（せせらぎ、用水路）、市民の活用の場の創出
- ③景観の統一監修：地形、水、石、緑の 4 つの景観基盤、「景層」、建築・施設・広場・園路・手摺・照明等



▶経緯とその成果

プロジェクト完遂までの道のりでは、様々な工夫が行われました。

一つ目は「継続的なデザイン調整」です。府職員とデザイナーたちが継続的に分野間調整や様々な設計者・施工者の統合を行い、「皆で理解し作ったデザイン」を目指しました。

二つ目は「試験積み」です。現場での幾度もの石組み試験や議論を行いました。（その様相は今も歴史として水没部分に一部残っています。）

三つめは「景観デザインのコンセプトブックの作成、共有」です。地域の記憶としての河川沿いの自然景観大切にすべく保存・再生を行ったり、人工物はミニマルデザイン（建築のガルバ屋根外壁、手すりのタテ格子、RC・PCの合理美）により風景に消えるように工夫したりしました。他にも、地域素材の活用や、地域民・市民の活用空間としてのダムづくりとして、多様な地形を活かした場づくり（半島型地形（大門寺丘）や尾根の丘（すすき丘）、川筋の芝生斜面と広場）、現地植生の再現、下流域水系の保全と用水路とせせらぎへの活用も行いました。



この結果、下流域の人たちを洪水から守り、環境保全はもちろん、観光レクリエーションのスポットとして山とまちをつなぐ存在となり、茨木市全体に新たな価値を生みました。

令和6年春頃より順次、広場エリアや全長420mの長さ日本一となる吊橋、水上アクティビティが楽しめるデッキエリアなど、様々な周辺施設もオープン予定です！

▶評価コメント

北摂の豊かな自然が街の営みを支えている。が、しかし自然が脅威にもなる。このことを伝えるために、このダイナミックな景観は十分なインパクトがある。市民の多くが行ってみたいと感じるだろう。

治水・防災の予算と、公園などの予算を摺り合わせることは通常難しいはずで、関係者の想像を絶する調整に敬意を払いたい。

ダム建設によって犠牲になった集落や営み、自然の記憶を継承しなければならない。そのために、土木と市民が近づかなければならない。関係者のそんな熱意が伝わってくる。

土木の大切さを市民に分かりやすく伝わる空間になることを願っている。



是非下記もご確認ください！！

- ・大阪府 HP→[安威川ダム施策](#)
- ・ニュージェック HP→[安威川ダムプロジェクト](#)

★ ★ ★ Photo Gallery

～令和6年度新入社員研修での安威川ダム見学会～



この時の様子は、審査員に見てもらった動画やパネルにも掲載し、グッドデザイン賞受賞に貢献しました！

▶受賞・表彰・感謝状一覧

▶河田恵昭先生が瑞宝中綬章を受勲されました！

当社顧問の河田恵昭先生(関西大学社会安全学部／特別任命教授／社会安全研究センター長、京都大学名誉教授、NPO 法人大規模災害対策研究機構(CDR)理事長[当社事務局])が、令和6年秋の叙勲にて「瑞宝中綬章(教育研究功労)」を授与されました。(令和6年11月3日付)

▶立野ダム建設事業 全建賞

令和6年6月26日、「立野ダム建設事業」が一般社団法人全日本建設技術協会から表彰されました。



▶都市整備部長表彰 技術者表彰

令和6年7月31日、大阪市都市整備部より表彰されました。

＜都市整備部長表彰＞

業務名：「安威川ダム試験湛水挙動解析等委託」

＜技術者表彰＞

管理技術者：赤松 利之さん(ダムG)



▶北部流域下水道事務所長表彰

令和6年8月5日、大阪府北部流域下水道事務所より表彰されました。

＜北部流域下水道事務所長表彰＞

業務名：

「安威川流域下水道 中央水みらいセンター導水渠外実施設計委託 (R4-2)」



▶寝屋川水系改修工営所長表彰

令和6年8月8日大阪府寝屋川水系改修工営所より表彰されました。

＜寝屋川水系改修工営所長表彰＞

業務名：

「一級河川 寝屋川 太平集水区 水理解析検討業務委託」



▶富田林土木事務所長表彰 技術者表彰

令和6年8月9日、大阪府富田林土木事務所より表彰されました。

＜富田林土木事務所長表彰＞

業務名：「一級河川 西除川 治水対策検討委託 (R4)」

＜技術者表彰＞

管理技術者：景山 健彦さん(河川G)



▶社内イベント、その他紹介

▶支店、事務所を移転しました！

執務室環境整備の一環で、下記事務所を移転しました。また、電話番号及びFAX番号につきましても変更となっております。



●四国支店及び香川事務所

新住所：〒760-0017 高松市番町1-6-1
(両備高松ビル)

新電話番号：087-883-6971

新FAX番号：087-883-6972

●青森事務所

新住所：〒030-0861 青森市長島2-25-1
(太陽生命青森ビル)

新電話番号：017-771-0260

新FAX番号：017-771-0261

●静岡事務所

新住所：〒420-0851 静岡市葵区黒金町
11-7
(大樹生命静岡駅前ビル9階)

新電話番号：054-903-9494

新FAX番号：054-903-9495

●滋賀事務所

新住所：〒520-0047 滋賀県大津市浜大津
1-1-3 (朝日生命大津ビル)

新電話番号：077-502-0573

新FAX番号：077-502-0574

●埼玉事務所

新住所：〒330-0062 埼玉県さいたま市浦
和区仲町一丁目14番8号
(大樹生命浦和ビル)

新電話番号：048-633-6780

新FAX番号：048-633-6781

▶令和6年度内定者懇談会を開催しました！

10月1日に令和6年度内定者懇談会を開催しました。山林社長からの挨拶のほか、先輩社員を交えた内定者同士の交流会もあり、終始なごやかな雰囲気で行われました。



山林社長の挨拶



交流会の様子

▶ノー残業デーイベント開催しました！

ノー残業デーイベントとして、10月16日に「JAZZ night LIVE in 大阪」(ゲスト：Piano 高岡正人さん、Bass 蓑輪裕之さん、Drums 齋藤洋平さん)を開催しました！

また、10月20日には「ニュージェック寄席 in 東京」(ゲスト：落語家の桂吉弥さん、桂弥っこさん)を開催しました！

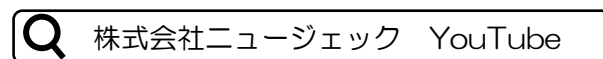


「JAZZ night LIVE in 大阪」

▶公式YouTubeチャンネルに動画投稿中！

若手社員に密着したドキュメンタリー風動画を新たに公開しました！是非ご覧ください！

◎公式YouTubeチャンネル→[YouTube](#)



▶建設技術展 2024 に出展しました！

「建設技術展 2024 近畿」（11月7日～8日）、「建設技術展 2024 関東」（11月13日～14日）、「建設技術フェア in 中部」（11月28日～29日）に出展しました。

今回は7つの技術を展示し、各会場とも100名以上の方々にブースを訪問頂きました。

★今回展示した技術★

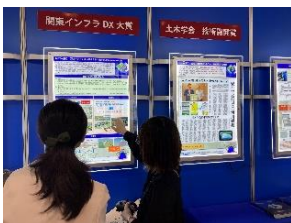
- ①STIV 法による流量観測(STIV 理論の解説)
- ②AI を活用した次世代型流量観測～HYDRO-STIV の開発
- ③都幾川管内樋管等設計における CIM の活用
- ④MIMM と AI による画像解析技術（道路 G）
- ⑤水害シミュレーションゲームオソレル ～由良川版～（河川 G）
- ⑥水空ドローンの開発
- ⑦AI を活用した書類作成の効率化（マスキングシステム）



今回展示したパネルデータは下記よりダウンロードが可能です。（2024/12/27 まで）

★ダウンロードはこちら↓

[建設技術展 2024 関東 オンラインサービス](#)



説明中



オソレルの体験の様子

▶「DX 認定事業者」として認定を受けました！

DX 認定事業者とは「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応していると国に認定された企業の事です。



◎ニュージェックの取組み内容はこちら→[DX](#)

▶大阪市立西中学校で職業講話を実施しました！

11月8日に大阪市立西中学校にて職業講話を実施しました！講話テーマは「インフラ整備と建設コンサルタント」で、西中学校の近くにあり当社が設計した「道頓堀川水門」の説明などを交えながら、仕事の意義や仕事に対する思いについて10名の生徒様に向け説明しました。

感想として、「私たちが安全に暮らせるのは、こういうお仕事をしている人がいるからだとか分かった。縁の下の力持ちだと思った。」などの声を頂きました。



講話の様子

◎詳細はこちら

→[共創チャレンジ](#)

▶夢キタ万博 2024 に出展しました！

11月9日に梅田スカイビルにて行われた、夢キタ万博 2024「KITAKU WORK WORK EXPO 2024」に出展しました！

◎詳細はこちら→[共創チャレンジ](#)



ブースの様子

▶第 57 回研究発表会に参加しました！

11月20日に開催されました、建設コンサルタント協会近畿支部主催の「第57回研究発表会」に社員7名が参加しました。72名が参加した一般論文発表・学生発表では、「UAV 搭載型グリーンレーザによる離岸堤の点検について」とのテーマで発表した港湾・海岸グループの阿部が奨励賞を受賞しました！



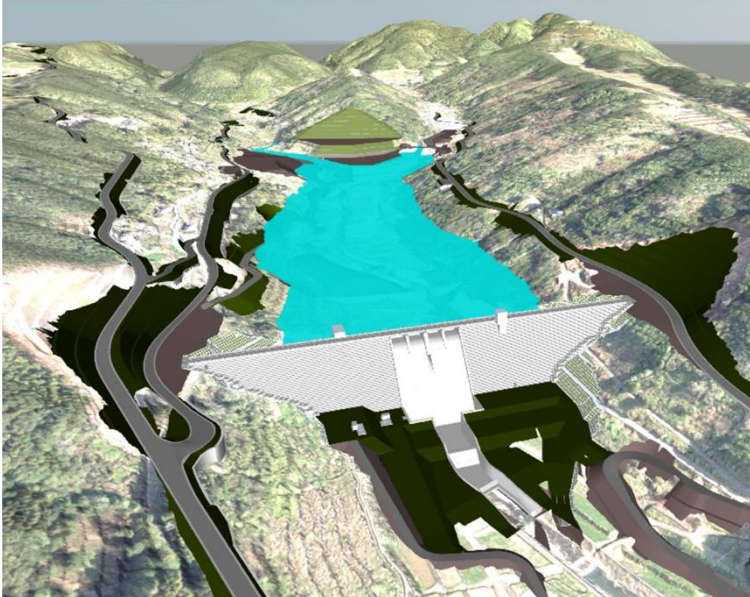
授賞式の様子

ニュージェットの

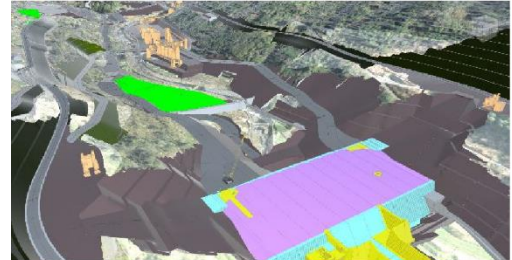
技術紹介!!



第3弾は…本明川ダム CIM・DX 活用検討



本明川ダム CIM 統合モデル



4D モデルによる施工計画の可視化



AR モデルによるダム完成形状の可視化

基本情報

場所…長崎県諫早市

業務を行った（関わった）グループ

…ダムグループ



▶業務内容

長崎県諫早市に建設予定である本明川ダムを対象に、CIM モデルを構築し、それらモデルを用いた事業全体の活用項目や DX 技術を併用することによる新たな活用計画等を検討しました。

▶業務を行う背景と目的

CIM モデルや DX 技術を積極的に導入することで、あらゆる場面での高度化・効率化が期待されている昨今の状況を踏まえ、設計段階（検討時）であった本明川ダムでは、今後の施工段階・維持管理段階における活用に向けて、各種検討及び計画の立案を行ったものです。

▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント

作成した CIM モデルは、今後は施工業者やダム

管理者が活用することとなるため、事業段階毎の活用項目・活用目的に沿って、モデルの詳細度や分割、属性情報等を予め考慮してモデルを構築する必要がありました。また、発展途上の技術・ツールであるため、今後の可能性も見据えた新たなチャレンジや試行を行っています。一例として、現場作業時のリアルタイムな位置情報と CIM モデルを連動させるシステムの構築や、品質管理・事業監理を目的とした管理手法等を継続的に検討しています。その他、AR モデルや 4D モデル等を構築し広報・地元説明等にも活用されています。

▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果は？

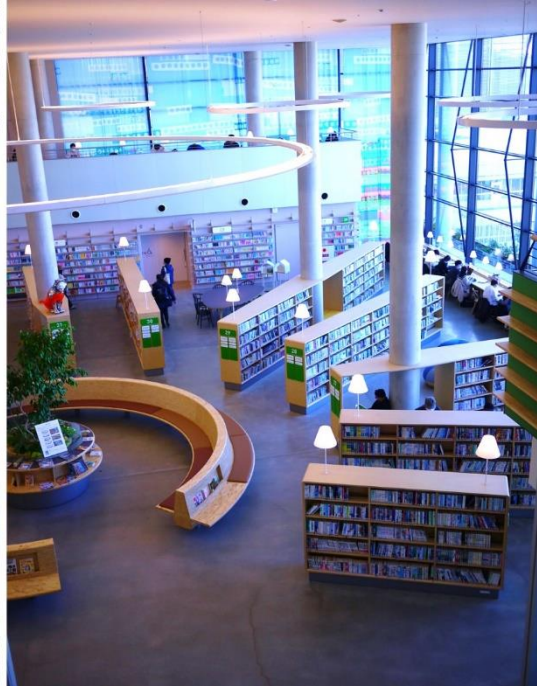
CIM モデルは「作成」することが目的ではなくモデルを用いて「活用」することが重要ですが、失敗例も含め、本事業で行われる活用実績が今後の後発事業の参考となり、3次元データを活用することによる土木分野全体の高度化・効率化に寄与できればと思います。（ダムグループ山下貴裕）

ニュージェットの

技術紹介!!



第4弾は…茨木市市民会館跡地活用プロジェクト「おにクル」



基本情報

場所…大阪府茨木市

業務を行った（関わった）グループ
…新規事業開発グループ、建築グループ、都市・上下水道グループ



▶業務内容

H29年の基本構想の受託を皮切りに、基本計画・民活導入可能性調査、グラウンド改良設計、DB（デザインビルド）事業者募集選定支援、DB事業モニタリング支援、管理運営計画、第二期基本計画、指定管理者募集選定支援の8つの業務をR5年までの7年間に渡り実施しました。

▶業務を行う背景と目的

旧市民会館の閉館を受けて検討が開始された新しい市民会館（ホール）の整備に加え、図書館や子育て支援センター、市民活動センター、プラネタリウム等を集約複合化するにあたり、民間ノウ

ハウを活用しながら効率的かつ相乗効果を発揮できる施設の実現を目指したプロジェクトです。

▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント

茨木市が掲げた「育てる広場」のコンセプトの下、単なるハコモノでなく公共施設を市民自らが主体的に使い、運営に携わり、つくり育てていくというビジョンを実現するため、各場面で時にリードし時に裏方に徹するなど、市担当との協働・パートナーシップの意識で業務に取り組みました。

▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果

著名建築家の設計も相まって、全国的にも高い注目を集めている「おにクル」は、公共文化複合施設の目指すべき新たな姿を体現しています。そこに携わった貴重な経験を生涯の宝としつつ、他のプロジェクトにも還元できればと思います。

（新規事業開発グループ上原昇）